

麻生町報

発行所
麻生町42番地
麻生町役場
発行人
高野勝
印刷所
麻生印刷所

三十四年度

73,733,800

円豫算を可決

三月定期議会

三月定期議会は三月二十四日から開かれ、三十四年度予算案ほか十六議案が上程されたが、慎重審議の結果その大部分を可決し三十一日閉会した。
特に三十四年度麻生町歳入歳出予算案は、町財政の健全性維持に意を用いて編成したもので歳入については、確実性を尊重し、出来る限りの財源を補く計上し、歳出については歳入と見合せ前年度の実績等を勘案して計上したものである。

健全財政をつらぬく

歳入町税については税法の改正が予定されているが現行税によつて算定計上し、地方交付税については指導機関の予算編成指導にもとづいて、前年度の実績等も勘案した。又町公債については危険校舎の改築に伴う起債の見込額を計上したものであります。
歳出 議会費は議員報酬の若干の増額と議事事務局の設置に伴う経費を役場費から移管計上、役場費は指導機関の指示にもとづいて人事院勧告による給与制度の改正を見込むとともに三十三年度の期末手当の支給改正による自然増を計上、またその他の消費的経費は前年の実績を勘案し、ほとんど同額を計上、消防費は諸設備の機械化と利水設備に重点をおいたが、動力ポンプの購入は前年より幾分減少する見通しで、新規事業に水防倉庫の建設費を計上、土木費は一般町道、橋梁等の補修費と特に災害復旧工事に重点を置き出来る限りの財源をこれに充ち、教育費については前年より大巾な減額は、中学校の統合費、公民館改装費などの削減によるもので、新規事業としては大和才三小学校危険

就任のごあいさつ

ふりかえつて見ますと四年前の合併の時に、初代町長として、この大きな町を麻生町とどうしたなら、皆様

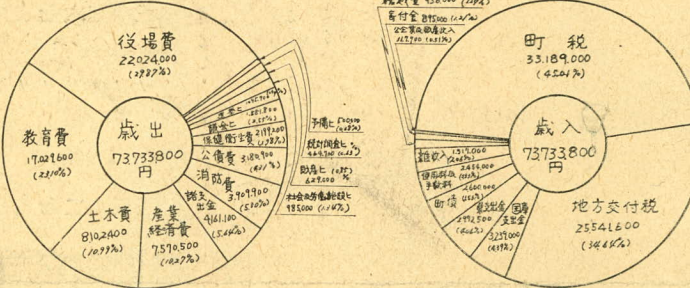
みなさまの意志を尊重 人の和をモットーに

高野勝

力によるものではなく、皆様の深い御理解と御協力のためのものであることは、いうまでもありません。ではあります、この麻生町を建設するの基盤となるものは、やはり人の和でなければならぬ。私が再び町長就任を望みまし

今月の税

固定資産税 1期
才 1期
保険税 才 1期
4月30日までに



農委選

無投票に終る

三月三十日任期満了前に行われる農業委員会委員選挙は二十四日締切日までに二十八名の立候補届出があつたが、十一名の辞退届があつたため、無投票になり左記の十七名が当選した。

- 役場の電話は
- 109.....町長室
 - 42.....総務、税務
 - 129.....経済、建設
 - 169.....教育委員会

若干増額してあり、諸支出金は総体として前年度よりも約六九万円の減となつています

サイレンを鳴らします

投票開始時と
閉鎖一時間まえ
三月二十三日の選挙当日に、役場及び各支所で左記のとおり「サイレン」を鳴らします
午前七時...投票開始
午後五時...投票所閉鎖一時間前
時間におくれないようみな投票しましょう。

お勤めの有権者へ
出勤前・早退投票を
町選挙委員会と公明選挙推進協議会とで、町内各種官庁、会社、工場、病院、団体等の長に「みんな投票しましょう」運動に特段の御配慮をいただくと御連絡申しあげておきましたから二十三日には

農委役員決定
改選後一回の麻生町農業委員会は四月七日午前十時より麻生町公民館で開催し、左記の通り役員の選出を行った。
委員長 山野彌之助
代理 小沼 誠一
県代表 寺崎 準衛

4月23日です

轟一家そろつてどこへ?



先祖代々棄権がきらい

みなさんの

「困りごと相談室」

麻生警察署より
八〇パーセントが解決
家庭での悩みごと、他人とのいざこざ、生活問題などでお困りのとき、みなさんのよき相談相手となるため警察では「困りごと相談室」を設けています。

3月末日人口

	男	女	計	世帯数
麻生地区	2,936	3,078	6,014	1,113
太田地区	1,224	1,230	2,454	386
大和地区	2,753	2,999	5,752	916
行方地区	1,405	1,503	2,908	494
小高地区	1,927	2,021	3,948	681
計	10,245	10,831	21,076	3,590

自衛官の試験

4月30日
潮来中学校で
申込書は役場に
あります

相談の内容は
○事業に失敗して借金が重なつたうえ、相手からさきとして告訴するといわれているがどうしたらよいのか。
○学校をきらい、休んでは時々家出し、汽車に無賃乗車するので、そのたびに迎えにいかなくてはならない。
○親としてどうしたらよいのか。
○不良息子の子供の持出し。
○暴行癖を持つ子どもの問題。
○雑音(騒音)で悩んでいる問題など、多種多様にわたっています。
この解決には、あらゆる努力がはらわれていますが、警察

消防団長に

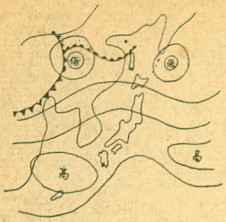
關武男氏任命される

支団編成を改め十二分団に編成された麻生町消防団は、三月二十七日、旧役員と新しく就任予定される分団長の合同推せん会において、現団長關武夫氏を推せんした。
四月一日、高野町長は、任命を合意した。
同日、關団長は副団長、分団長、部長、班長を左記のとおり任命した。

- | | |
|-----|--------|
| 副団長 | 土岐田光栄 |
| 分団長 | 金田 時衛 |
| 分団長 | 永作 惣七 |
| 分団長 | 羽生 文男 |
| 分団長 | 小林 政雄 |
| 分団長 | 小貫 辰雄 |
| 分団長 | 辺田 半兵衛 |
| 分団長 | 根木 末雄 |
| 分団長 | 藤崎 善衛 |
| 分団長 | 小沼 豪 |
| 分団長 | 今泉 源衛 |
| 分団長 | 根本 勝孝 |
| 分団長 | 浅野 礼儀 |
| 分団長 | 板橋 福美 |
| 分団長 | 永峯 甲子一 |
| 分団長 | 齊藤 正博 |
| 分団長 | 高橋 正 |
| 分団長 | 青木 一信 |
| 分団長 | 大橋 一信 |
| 分団長 | 永作 昭彰 |
| 分団長 | 高橋 彰 |

四月の天気

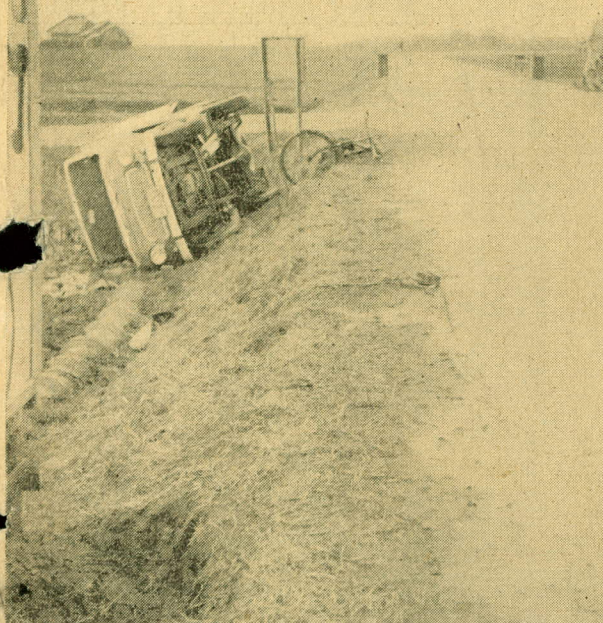
かわりやすい春の天気の主役は、移動性高気圧です。直径二キロくらい、だ円形をして、大陸方面から東へ進み、たいいて日本を横切つて東の海上に去る。このころの天気図をみると低気圧、移動性高気圧、低気圧とならんで、移動性高気圧が通ると、風のあまりないよい天気になるが、この高気圧の中心が通りすぎると、雲がでて花曇りになり雨がふります。



- | | |
|-------|--------|
| 六分団 | 羽生 武彦 |
| 七分団 | 菅谷 能昌 |
| 八分団 | 宮内 竹雄 |
| 九分団 | 堀江 嘉彌 |
| 十分団 | 本戸 正之 |
| 十一分団 | 滝ヶ崎 喜平 |
| 十二分団 | 高野 正太郎 |
| 十三分団 | 鷺野 芳三 |
| 十四分団 | 宮内 浅衛門 |
| 十五分団 | 大輪 民雄 |
| 十六分団 | 茂木 良秋 |
| 十七分団 | 宮内 賢志 |
| 十八分団 | 高田 丈夫 |
| 十九分団 | 宮内 義男 |
| 二十分団 | 成島 定助 |
| 二十一分団 | 桑島 哲雄 |
| 二十二分団 | 関口 喜章 |
| 二十三分団 | 灘谷 運吉 |
| 二十四分団 | 箕輪 助雄 |

せまい道から広い道に入る時 除行か一旦停車

この写真は雨の日、自転車に乗って狭い道から広い道路を横切らうとして、折柄進行してきた自動車とそれをさけようとして田圃にころがり、自転車に乗っていた人は怪我をするといった事故です。せまい道から広い道に入るときは、いったんとまるか、あるいは速度を落とし停止して広い道路を通行している車を、先に通し安全をたしかめてからにしてください。最近はこのような事故が増加しておりますから御注意をお願いします。(麻生警察署より)



清掃日 四月二十五日 小高地区 (雨天順延)

- 「自分の家です。清潔にいたしましょう。」
- | | |
|------------------------------|-------------------|
| ①新堀次男⑤昭32、8、10⑥男 | ①矢幡②荒野康③農業 |
| ①四鹿②久保田稔③農業④久保田高志⑤昭33、1、22⑥男 | ④荒野光司⑤昭32、8、10⑥男 |
| ①四鹿②久保田昭治③農業 | ①富田②出沼一祐③農業 |
| ④久保田茂雄⑤昭32、9、19⑥男 | ④出沼洋子⑤昭32、10、25⑥女 |
| ①今宿②滝ヶ崎正③洗濯業 | ①矢幡②荒野康③農業 |
| ④滝ヶ崎広⑤昭32、9、14⑥男 | ④荒野光司⑤昭32、8、10⑥男 |
| ①船子②風間清一③農業④風間幸恵⑤昭32、9、9⑥女 | ①富田②吉崎政雄③工員 |
| ①繕沢②平野明③農業④平野 | ④吉崎和男⑤昭32、11、25⑥男 |

今年も新入学期を迎え児童を送り出す家庭では自動車の往來のはげしい通学路が心配の種である。
家庭や学校で通行の心得をよくおしえてください。
イ、道路は必ず右側を歩かせ、横断は左右をたしかめ、まっすぐに横断歩道のある、そこを渡る習慣づけ。
ロ、横に四、五人並んで歩く

新入学児童の交通安全をふせぎましょう

- | | |
|-----------------|--------|
| 小高才二 | 浅野儀右衛門 |
| 「四」 | 沢谷 一郎 |
| 「十二」 | |
| 四月一日付 (旧区長名を略す) | |

援護法の届出は 四月二十九日
戦没軍人軍属年金慰金の請求は四月二十九日まで有効になります。
届出のない方は、役場厚生課まで御相談下さい。

農家組合(増産班)の統合を図りましょう
現在麻生町には農家組合が一九一ありますが、組合員の構成を見ると十人以上の組合が一八二あります。
これは物資不足時代供給の関係や肥料の配給等の事情により少ない組合員で構成したものもあると存じます。
この際、努力の節の連絡、努力の節限等のため適正戸数(約二〇戸位)に統合を図るようおすめ致します。
今十戸以下の組合をあげると次のようになっています。
一〇人の組合 三三
九人の組合 三七
八人の組合 七二
七人の組合 九七
六人の組合 七五
五人の組合 三三
四人の組合 三三
三人の組合 三三
二人の組合 三三
一人の組合 三三

優良赤ちゃんを表彰します

昨年八月と今年三月に実施した。乳幼児健康診断の結果左の赤ちゃんが優良な発育をとげていますので、五月二日麻生町公民館で表彰いたします。

- 記
- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ①部番号②父の名③父の職業④子の名⑤生後月数⑥男女の別 | ①富田②吉崎政雄③工員 |
| ①富田②吉崎和男⑤昭32、11、25⑥男 | ④吉崎和男⑤昭32、11、25⑥男 |
| ①富田②出沼一祐③農業 | ④出沼洋子⑤昭32、10、25⑥女 |
| ①矢幡②荒野康③農業 | ④荒野光司⑤昭32、8、10⑥男 |
| ①矢幡②荒野康③農業 | ④荒野光司⑤昭32、8、10⑥男 |
| ①矢幡②荒野康③農業 | ④荒野光司⑤昭32、8、10⑥男 |

農休日を守る 田町六十戸部落
農家の生活改善が話題になつてゐる時代に本町では才二番目に農休日を定めその日を休養日や教養日とする申し合せをした部落がある。
田町部落は百戸をこえる大きな部落で、町の中にとりのこされた農家は六十戸を数えるが、近隣は病院、商店、勤め人の住宅などで、農家独自の生活改善策をお互に研究しあつてゐたが、四月一日から毎月一日を農休日と定め、当日は幹事さんが朝早くタイコをたたいて知らせる方式をとることとなつた。
これは、あくまでも個人の意志を尊重し、罰則はない。ただし農繁期中は例外とする申し合せをきめた。
この農休日を利用して、主婦は各種講習会等をひらき、特に計画産児や育児教育に力をつくすことを計画している。

蚊とハエ駆除 今のうち徹底的に
いよいよ蚊とハエの繁殖期に入りました。各地で越冬バエ対策として畜舎の床の修理やサナギ掘りしたことでしょう。蚊は越冬場所が探しにくいので、退治もむづかしいかと思ひます。
蚊は、今年最初のボウフラを退治することです。
ちようど今月がたいせつです。防火用水は水を交換したり、フナ、メダカを入れます。
下水は流れやすく溝を清掃し汚水をかき出し、家のまわりの空びんや茶わんのかからは水がたまらないように埋めこみましょう。
竹の切株を鋸で割つてくださ。い。お彼岸をすぎたお墓の花立も砂をつめておきましょう

区長異動

- | | |
|------|--------|
| 麻生才二 | 柳町 盛国 |
| 「九」 | 羽生治四郎 |
| 「代理」 | 永作 文雄 |
| 「代理」 | 奈良崎新一 |
| 「代理」 | 倉河 義雄 |
| 「代理」 | 辺田徳之助 |
| 「代理」 | 山口 勝 |
| 「代理」 | 矢口 彌 |
| 「代理」 | 箕輪庄兵衛 |
| 「代理」 | 箕輪 金雄 |
| 「代理」 | 羽生 進 |
| 「代理」 | 羽生 彪彦 |
| 「代理」 | 根本 好夫 |
| 「代理」 | 生井沢 一郎 |
| 「代理」 | 坂本 省衛 |
| 「代理」 | 高崎 昌平 |
| 「代理」 | 下河辺明雄 |
| 「代理」 | 高崎 右衛門 |
| 「代理」 | 内田 康雄 |
| 「代理」 | 大塚 泰 |
| 「代理」 | 柏葉 寛 |
| 「代理」 | 畑木 太郎 |
| 「代理」 | 浅野儀右衛門 |
| 「代理」 | 沢谷 一郎 |